

平成22年度第9回 公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成22年12月6日（月）11時00分～11時25分

場 所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	古賀 実
副学長	半藤 英明
事務局長	益田 和弘
文学部長	山田 俊
環境共生学部長	有菌 幸司
総合管理学部長	三浦 章
学術情報メディアセンター長	津曲 隆
アドミニストレーション研究科長	黄 在南
熊本県公立高等学校長会会長	眞開 純洋
前熊本近代文学館館長	河原畑 廣
欠席：地域連携センター長	篠原 亮太
学校法人昭和女子大学理事	渡辺 満利子

事務局：三角事務局次長、林田教務入試課長、馬場総務課長、高橋学生支援課長、阪本企画調整室長、田中学術情報メディアセンター事務長、林企画調整室主幹、教務入試課木村教務班長、同課安達入試班長、同課澤田参事

1 開会（進行：三角次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）報告事項

① 平成23年度特別選抜における合格者の決定について

事務局から、平成23年度特別選抜における合格者決定について、資料1-1に基づき「試験は11月28日に実施した。天候にも恵まれ、一人の欠席もなかった。全体で141名が受験した。推薦入試は、全体での倍率は1.8倍。倍率が一番高かったのが、日文の3.2倍。一番低かったのが、環境資源の1.3倍。夢実現入試は、総合管理学部に1名が志願した。社会人入試は、食健康科学科に1名志願、総合管理学部においては1名志願があった。帰国子女入試は、居住環境学科に1名志願があった。審議内容の詳細については、各学部の先生方から、夢実現については副学長から説明していただく。」との説明があった。

・推薦入試

山田文学部長から、資料 1－2（会議後回収）に基づき、「日本語日本文学科は、募集人員 5 名に対し、受験者 16 名。小論文と面接を実施。上位 5 名までを合格としたい。英語英米文学科は、募集人員 7 名に対し、受験者 16 名、小論文と面接を実施。上位 7 名を合格としたい。」との説明があった。

続いて有菌環境共生学部長から、「環境資源学科は、募集人員 3 名に対し 4 名が受験。小論文と面接を実施。上位 3 位までを合格としたい。居住環境学科は、募集人員 4 名に対し 7 名が受験。小論文と面接を実施。上位 4 名までを合格としたい。食健康科学科は、募集人員 4 名に対し 14 名が受験。小論文と面接を実施。上位 5 名までを合格としたい。」との説明があった。

続いて三浦総合管理学部長から、「総合管理学部は、募集人員 50 名に対し、80 名が受験。50 位と 51 位が僅差であり、51 名までを合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

・“くまもと夢実現” 推薦入試

半藤副学長から、資料 1－2（会議後回収）に基づき、「募集人員 2 名以内に対し、1 名の志願者があり、志望は総合管理学部であった。3 学部長と副学長とで審査した。受験者男性は弓道部に所属し、生徒会でもボランティア活動をしている学生。小論文と面接を実施し、配点は小論文 100 点、面接 100 点であった。小論文は具体的かつ明瞭に将来の志望について書かれていた。面接は、意欲、目標などの観点から審査したが 8 割とれており、合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

・社会人入試

有菌環境共生学部長から、資料 1－2（会議後回収）に基づき、「環境共生学部食健康科学科に志願者が 1 名あり、英語、化学・生物、小論文と面接を実施。合格基準に達しておらず不合格としたい。」との説明があった。

続いて、三浦総合管理学部長から、「1 名の志願者があり、英語、小論文と面接を実施。基礎学力があり、意欲が十分と評価でき、合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

・帰国子女入試

有菌環境共生学部長から、資料 1－2（会議後回収）に基づき、「環境共生学部居住環境学科に志願者が 1 名あり、小論文と面接及びプレゼンテーションを実施。ずっと米国で暮らし、現地の大学に 1 年通学していた。日本語は補習学校に通われ、両親が日本人で家庭では日本語を使用しており、十分なコミュニケーション能力が認められる。成績もとれて

いたので合格としたい。」

審議の結果、案のとおり承認した。

4 その他

次回日程、12月20日（月）午後2時30分～ 本部棟2階 大会議室

5 閉会